

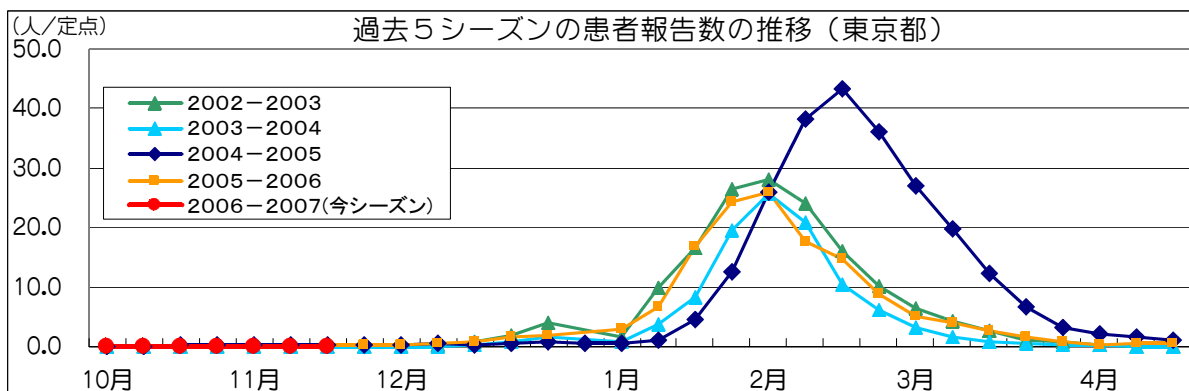
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第1号)のトピックス

- 第46週(11/13~19)のインフルエンザ患者報告数は 3人、定点当たり 0.02人 (去年同期 25人、定点当たり0.14人)
- 今季のインフルエンザHAワクチン株
- 抗インフルエンザウイルス薬/インフルエンザウイルス検出キット供給予定量
- インフルエンザ関連キーワード
- 情報の提供:相談窓口/情報提供サイト

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。

はじめに

インフルエンザの流行する季節が近づいてきました。東京都健康安全研究センターでは、今シーズンもインフルエンザに関する様々な情報を、都内の医療機関をはじめとする関係機関の皆様にご提供してまいります。インフルエンザの予防と対策にぜひお役立てください。

なお、この情報は東京都健康安全研究センター内の感染症情報センターホームページ (<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>) でもご覧いただけます。

1 インフルエンザとは

インフルエンザは通常のかぜと違い38~39℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強くあらわれます。気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、けいれんなどを併発し、重症化することもあります。インフルエンザ

の流行が始まると、短期間に乳幼児から高齢者まで多くの方が感染するという特徴があります。過去数十年間にわたり、A/H1亜型、A/H3亜型、B型のインフルエンザウイルスが流行しています。

2 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第46週(11/13~19)の患者報告数は東京都で 3人、定点当たり0.02人です(去年同期 25人、定点当たり0.14人)。全国の患者報告数は 154人、定点当たり0.03人です。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点142か所を含む178か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

3 ウイルス検出状況

9月4日から11月22日までに、大阪府と岡山県からA H 1 亜型、兵庫県と埼玉県からA H 3 亜型、富山、滋賀、広島県の3県からB型が報告されています。

4 今季のインフルエンザHAワクチン株

平成18年6月12日今季のインフルエンザHAワクチン株が次のように決定され、現在、このワクチンが供給されています。

A型株

A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

A/広島/52/2005(H3N2)

B型株

B/マレーシア/2506/2004

5 抗インフルエンザウイルス薬供給予定量

今シーズン、「タミフル」は昨年と同様に、1,200万人分供給される予定になっています。また、「リレンザ」の供給予定量は30万人分で、昨年の2倍になっています。

6 インフルエンザウイルス検出キット供給予定量

今シーズンは、約2,400万人分のキットが供給される予定になっています。昨シーズンは、2,311万人分生産され、その内1,729万人分が使用されました。

7 相談窓口

インフルエンザの一般的予防方法、流行状況やインフルエンザ予防接種の意義、有効性、副反応等に関する疑問に的確に答えていくため、厚生労働省は、NPO法人バイオメディカルサイエンス（バムサ）に「インフルエンザ等相談窓口」を開設しています。

窓口の開設期間や対応日時などは次のとおりです。

- 開設時期：
平成18年11月10日～平成19年3月30日
- 対応日時：月曜日～金曜日（祝日除く）
9：30～17：00
- 電話番号：03-3200-6784
- FAX番号：03-3200-5209
- E-mail：influt@npo-bmsa.org

8 情報提供サイト

- 東京都感染症情報センター
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>
- 国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/index.html>
- 厚生労働省「今冬のインフルエンザ総合対策について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

インフルエンザ関連キーワード

「インフルエンザウイルス」

インフルエンザウイルスは、A、B、Cの3種類の型に分類されている。A型は、さらに、ヘマグルチニン（H1～16）及びノイラミニダーゼ（N1～9）の組み合わせによって亜型に分類されている。特に、A型はトリやブタなどの動物にも感染する。

「鳥インフルエンザ」

鳥類のインフルエンザを「鳥インフルエンザ」といい、鳥類に感染し死亡させるような病原性が高いものを「高病原性鳥インフルエンザ」という。このウイルスがヒトに感染した場合は四類感染症として扱われる。

「指定感染症・インフルエンザ（H5N1）」

インフルエンザウイルスA H5N1は、ヒトからヒトへ感染する恐れが高まったため、本年6月に感染症法の「指定感染症」として政令指定された。これにより、AH5N1感染症は、二類感染症に準じた規定が適用される。

「新型インフルエンザウイルス」

ヒトからヒトに感染する新しい亜型ウイルスのこと。AH5N1ウイルスのトリからヒトへの感染事例は、ヒトに対する新型インフルエンザウイルスの発生を懸念させる。

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

idsc@tokyo-eiken.go.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>



古紙配合率70%再生紙を使用しています